

ボリビア・ラレカハの農地改革 (3)

木村秀雄 (自由学園・最高学部)

キーワード: アシエンダ、先住民共同体、自営農園、多様性、連結性

Reforma Agraria en Larecaja, Bolivia (3)

HIDEO KIMURA (Jiyugaken College)

Keywords: Hacienda, Comunidades Campesinas, Propiedad Particular, Diversidad, Articulación

1. これまでの2回の発表

「前々回発表」

対象地域: ラレカハ溪谷上流部 (Parte Alta del Valle de Larecaja)

先スペイン期チチカカ湖岸政治集団の飛地、植民期以来現代まで先住民運動の盛んな地域、ジャガイモ栽培専業地域・トウモロコシ栽培専業地域・両作物栽培地域に区分、3種の経営体 (アシエンダ・先住民共同体・自営農園)

「前回発表」

アシエンダの多様性の提示

- ・最高標高部のアシエンダ (標高 3,500 m.以上 / ジャガイモ栽培専業)
- ・高標高部のアシエンダ (3,000 m.以上斜面上部 / ジャガイモ・トウモロコシ)
- ・中標高部のアシエンダ (3,000 m.以上斜面下部 / ジャガイモ・トウモロコシ)
- ・低標高部のアシエンダ (3,000 m.以下中心 / ほとんどトウモロコシ)

今回の発表

2. 先進的 (商業) アシエンダ

- ・商品作物生産地とコロノ居住地を分離
機械化・電化を推進

Espada + Romeropata (Sorata)

El Yoro + Machacamarca (Quiabaya)

Coaba (Ilabaya) Expediente なし

名前	総面積	可耕地	%	個人専有地
Espada	6.6920	6.6920	100	6.6920
Romeropata	7.5037	5.2529	70.0	5.2579
El Yoro	18.9246	9.3070	49.18	14.1435
Machacamarca	315.9119	26.4379	8.37	26.4379

コロノ	%	アセンダド	%	アイノカ
0	0	6.6920	100	0
4.7435	90.30	0.5094	9.70	0
0	0	18.3070	100	0
10.5286	39.82	15.9093	60.18	0

ロメロパタ = コロノ割当地 (総数 4 人、区画数 19、区画総面積 4.7435 ha.、一人当区画数 4.75、一人当面積 1.1859 ha.、1 区画面積 0.2497 ha.)

アセンダド専有地 (区画数 1、総面積 0.5094 ha.)

- ・先進的アシエンダの特徴

領域を商品生産用地とコロノ居住用地に2分
Espada (商品生産)

=トラクターなどで機械化農業+養蜂・養鶏・
果樹栽培、電化

Romeropata (コロノ用)

=Espada で働く労働者に食料を自給させるた
めの土地

El Yoro (商品生産)

=果樹 (柑橘類 801、アボガド 379、バナナ 352)

Machacamarca (コロノ用)

=アセンダド直轄地もあるが、中心はコロノ
の自給用の割当地

- ・その他の先進アシエンダの例

チラバヤ川西側最底部の Coaba (先住民共同体
Chejje の下部・平坦な好条件の土地)

灌漑水路+水力製粉機+トラクター (機械化)
農地改革原簿がないため詳細不明

Espada と Coaba はプロテスタント伝道会が購
入・Chejje の先住民メンバーの一部に伝道会が
土地を部分的に付与

3. 自営農園 propiedad particular sin colono

ほとんどは低標高地で領域全体が可耕地
 高・中標高地で非耕地を持つものも少数存在
 複数の土地区画を所有する例が多数
 共同体の内部に存在するものもある
 (アシエンダと自営農園の全体比較)

	アシエンダ	自営農園
経営体数	89	252
総面積 (ha.)	16,557.7887	1,408.2524
可耕地 (ha.)	3,957.4770	594.9976
非耕地 (ha.)	12,600.3117	813.2118
可耕地/総面積	0.2390	0.4225
経営体平均面積 (ha.)	186.0426	5.5883
経営体面積中央値 (ha.)	116.0000	1.4540
可耕地平均 (ha.)	44.4660	2.6444
非耕地平均 (ha.)	141.5765	2.9439

(アセンダド・コロノ・自営農民の個人別比較)

	アセンダド	コロノ	自営農園
人数	89	1173	252
経営体別平均人数	1	13.18	1
専有・割当地総面積	801.2576	1784.9336	594.9976
一人平均面積	9.0029	1.5217	2.3611

多くの区画を所有する自営農民

Pucarilla (Cantón Quiabaya, Com. Huayra Pacari)
 総面積 7.7560 ha.、区画数 14、平均面積 0.5540
 この直轄地=コロノ割当地・領主直轄地と同様、複数の区画を分散させて所有
 共同体成員の共同労働との記述

Machacamarca (Cantón Ilabaya, Com. Arapa, Sairi)
 総面積 2.4632 ha.、区画数 15、平均面積 0.1642
 全ての区画が直接耕作でなく小作人による
 小作人は共同体の成員である可能性大
 共同体成員が地主に変容したか？
 外部の人物が共同体の土地を入手したか？

複数の相続人の中での分割

複数の所有区画をそれぞれ均等に分割

(例) Ajjalpampa, Jachasirca

共同体でも同じやり方をするという聞き取り
 実際には計測できない均等分割を証拠立て
 実際の耕作者は不明

4. まとめ

標高の違いによるアシエンダの性格の違い

高標高地を持つアシエンダ=領域面積が大きい=コロノ割当地の比率が大きい
 高標高地=ジャガイモ耕作地=区画面積が小さい=トウモロコシ耕作地は大きい

渓谷内部の分布の違い

サン・クリストバル右岸=アシエンダのみ=標高差を持つアシエンダ+低地の自営農園
 中央尾根両側=共同体 1 つ=残りは標高差の少ないアシエンダ+自営農園
 チラバヤ左岸=大きな標高差を持つ共同体とアシエンダ(最下流の2つ)+自営農園

経営体の性格は連続変異

アシエンダ(コロノあり) - アシエンダ(共同体の労働力を利用) - アシエンダ(ごく少数のコロノ)- 自営農園(領域外の小作人利用) - 自営農園(所有者の単独労働)

コロノと自営地は、面積が実質的に同等
 (カルカの分析結果を補う点)

- ・一つの小領域(ラレカハ渓谷)の全体像
- ・自営農園の姿
- ・コロノ一人一人の割当地の面積や分布
- ・土地の均分相続の文書による確認(不足点)
- ・先住民共同体とアシエンダとの関係不明
- ・常勤労働者とそのほかのコロノの違い不明
- ・輸送・交易・鉱山について不明(カルカも同様)
- ・アシエンダを複数所有の場合の経営戦略不明

【主要参考文献】

- 木村秀雄、2017、「農地改革期クスコ農村社会の多様性と制度」、『アンデス・アマゾン研究』、1:1-54、DOI: https://doi.org/10.50952/janams.1.0_1。
- 木村秀雄、2022、Diversidad y estructura de las sociedades rurales cusqueñas en la época de la Reforma Agraria de Velasco Alvarado, y sus condicionantes ecológicos, históricos e institucionales. En *Etnografía andina: Recorrido y valoración cultural*, Senri Ethnological Studies III, Yuriko Yagi (ed.), pp.81-123, National Museum of Ethnology, Osaka.